

## 障害学との対話——新型出生前診断の時代に

これまで西南学院大学において、私たち共同研究グループは、「新型出生前診断の導入を考える」「進むいのちの選別——出生前診断の今日」と題したシンポジウムを開催し、妊産婦や胎児にたいする新たな型の診断法の動きに注目してきました。他方で、現在起こりつつあること、未来に起ころうとしていることに見通しを与えるべく、シンポジウム「優生学の過去・現在・未来」も開催し、日本や外国の優生学をめぐる歴史を振り返ってきました。今年は、学外より障害学の第一人者である堀正嗣さん・立岩真也さん、また受精卵診断・出生前診断導入をめぐる歴史についての著作を出された利光恵子さんをお招きし、障害学という視点から新たな光を投げかけつつ、問題を論じていきます。

日時 2016年3月26日(土) 13時30分～17時

場所 西南学院大学 東キャンパス 大学院1階大ホール(福岡市早良区西新6-2-92)

(キャンパスマップ <http://www.seinan-gu.ac.jp/campusmap.html>)

### プログラム

- 13:30～13:40 開会の挨拶 山崎喜代子(西南学院大学)
- 13:40～14:10 報告1 堀正嗣(熊本学園大学)「障害学と共生社会への課題」
- 14:10～14:40 報告2 利光恵子(立命館大学)「日本における着床前診断をめぐる争いの現代史」
- 14:40～15:00 休憩
- 15:00～15:20 コメント1 立岩真也(立命館大学)
- 15:20～15:40 コメント2 川上具美(西南学院大学)
- 15:40～17:00 総合討論 堀正嗣／利光恵子／立岩真也／川上具美  
司会進行：北垣徹(西南学院大学)

### 参加自由・参加費無料

※参加希望者は、人数確認のため、下記連絡先にご一報いただくと幸いです。

問い合わせ先：西南学院大学 教育・研究推進課(092-823-3604)

北垣 徹 ([kitagaki@seinan-gu.ac.jp](mailto:kitagaki@seinan-gu.ac.jp))

主催：西南学院大学研究インキュベートプログラム「日本における優生学の歴史と新優生学の展開：国際交流の観点からみた学際的研究」